



探究を見学！授業実践「英語表現Ⅱ」

概要

- 授業者：山崎 太幹（英語科）
- 日時・対象：令和5年11月15日（水）／3年生普通科文系
- 内容：英作文および文法について

導入 本時の授業内容や目的について説明



展開① ペアワーク



展開② 初見問題をグループで解決する。



展開③ プロジェクターを用いて発表



●授業者が目指す授業、成果と展望、本時の感想など

〔目指す授業〕英語の授業は「予習→授業→復習」の流れを大切に行っていますが、「授業」を単なる「予習」の発表の場にしてはいけないということを心がけています。ある程度の緊張感のなかで、生徒たちが予想しない質問に対して、まずは自分で考えた後、ペアおよびグループでお互いの意見を共有し、最終的にはクラス全体のものとする事は頻繁に行っています。また、ペアワークなどで意見交換する時は、なぜそう思ったのかという理由も説明するよう求めています。3年生の生徒たちは受検が近づいており、繊細な気持ちになりがちですが、日々の授業を通して、「得られるもの＝お得情報」を一つでも多く持ち帰ってもらえるような授業にできればと考えています。

〔本時の感想〕使用テキストに関する1年間の総復習ということで、もう少し設定時間（解答時間やグループでの準備時間）にゆとりがあれば良かったと思います。生徒たちは初見の問題に取り組んでいましたが、グループワークや発表も含め、柔軟に対応できていました。今日一日限りのイベントにならないように、今後どこかのタイミングで復習する機会を設定する予定です。英語を苦手とする生徒が多いクラスですが、一年間を振り返ってみると非常に前向きに取り組んでくれました。その成果については、身近なところ言えば、定期考査の得点にも表れていたと思います。まだまだ受検への道のりは長いですが、もっと自分に自信を持って頑張ってください。まだまだこれからです。最後まで一緒に頑張りましょう。